

# 三菱病院看護科

# みて！みて！看護

第8号

発行日 2009年 7月 編集 看護サービス委員会

今回は手術室で行われている看護の紹介です。手術は、手術する場所によっていろんな体位(姿勢)で行われます。麻酔がかかり患者様が眠られた後、体位による褥瘡(床ずれ)や神経障害(しびれ)を予防するため、手術室看護師は色々な工夫を行っています。今回は、当院でよく行なわれる体位で、どのような看護が行われているか紹介します。

## 仰臥位(仰向け):お腹の手術や、膝の関節鏡など



手術室のベッドは狭いので安全のためにバンドで固定しています

拡大

とてもやわらかく広い接触面積で身体を包み込み、効果的に体圧分散を行います

ソフトナース

## 褥瘡予防

色々な形・素材のスポンジ

ソフトナースの他にも、色々な素材や形のスポンジ、ゲルパットなどで、褥瘡(床ずれ)を予防しています。姿勢によって褥瘡の起こりやすい場所は違ってきますので、工夫しています。



色々な形のゲルパット



## 腹臥位(うつ伏せ):腰の手術や頰の後方手術など



腰の手術は4点フレーム(胸と腰で支える)にうつ伏せの姿勢です

拡大

ゲルパットでとてもやわらか

固定

各部の固定は、神経麻痺を起こさないよう注意して行っています

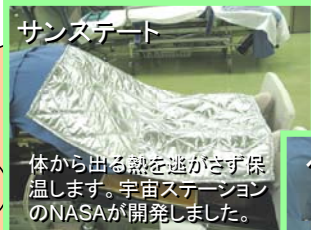
腋窩神経、上腕神経、尺骨神経、よし！

## 保温・加温

患者様が眠られた後も、体温が下がらないように、また寒さを感じないように体を温めています。サンステートもベアハグガーも色々な形があり、手術の邪魔にならないよう選択します。

サンステート

体から出る熱を逃がさず保温します。宇宙ステーションのNASAが開発しました。



ベアハグガー

温風を利用し、埃を起かさずに体を温めます。



## 側臥位(横向き):肩の手術や股関節の手術など



横向きは色々な道具を使用して安全・安楽に固定します

足枕

腓骨神経よし！

腋枕

腋窩神経よし！

上腕神経・尺骨神経よし！

背中もしっかり固定しています

手術を受けられる患者様の不安や苦痛をくみとって、思いやりのある看護を目指していきま。どうぞ安心して手術に臨まれてください。手術室看護師一同



## 神経障害予防